

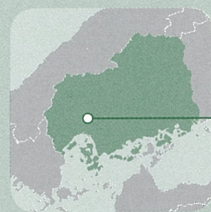


自分を、会員を「生かす」 会員増強運動

広島市安佐南区 長東長寿会連合会

●クラブ数10クラブ

●会員数618名(男性263名、女性355名)



広島市
安佐南区

今日の社会は、人類史上類を見ない速さで

変化しています。老人クラブも変化に対処して、より良いクラブに変えていく努力が必要ではないでしょうか。多くのクラブでは、会員減少に悩んでいると思いますが、社会現象であって仕方ないと考えていいのでしょうか。決してそのようなことはありません。

私たちの地区連合会では、昨年4月に連合会長が代わったのを機に、新入会員年間100人目標を掲げて、会員増強運動に着手しました。結果123人と目標を超えて達成。今年度は目標を50人としたところ、10月初めまでに54人を達成して、今後は10人単位で増員

を目指します。

会員地図の作成・配布

私たちの取り組みのいくつかを紹介しましょう。まずクラブ別に会員地図を作成しました。会員と非会員が一目で分かるだけでなく、使いつ方によっていろいろ役立ちます。非会員の多いエリアの理由を探って対策を講じたり、強化重点エリアにもできます。60代の知人を勧誘していた時に会員地図を見せると、自ら会員になっただけでなく、地図を見て親戚や同級生、知人等への勧誘に大いに協力してく

1 クラブ規約の一部を変更

年会費千円を、入会初年度に限り10月12月加入500円、1～3月加入は免除にして入会しやすくした。

2 PR活動用の新設チラシ活用

文字を少なく写真を多く取り入れて、見やすくした。

3 地域各種団体の名簿の活用

老人クラブ未加入者を明示して、各種団体の長や役員に協力依頼。

4 老人クラブ応援の趣味クラブを活用

趣味クラブ新設に協力したり、非会員

に対する加入促進協力を要請。

5 老人クラブ主催行事を活用

手芸教室等に会員以外のお試し参加を認めて、加入促進。

6 高齢会員の子ども世代への加入促進

夫婦世帯で片方のみ会員の場合、他方への加入促進

また、会の収入増を図ることによる魅力アップ作戦を行いました。まず、会員増とクラブを三つ増加させたことで、市の補助金が36%増額。新設クラブの会長はすべて女性です。年3回発行の会報には協賛広告10社を集めて、会報発行費を賄えるようにしました。さらに公園5か所の清掃により、市から報奨金をいただけるようになりました。

会員増強運動への考え

運動に対しては、次のような考え方をもって取り組んでいます。

- 1 目標・方向を決めて、着実にできる方向に進むと考える。
- 2 考え方をポジティブに変えたと行動が変わる。
- 3 行動が変わると成果が変わる。
- 4 役員が率先垂範して取り組む。
- 5 成功例、失敗例を関係者が共有して生



街区公園5カ所を清掃。全体で50人程度が参加

れました。また会員宅に届け物をする時にも地図を携えて、ついでに付近へ声かけをします。このちょっとした時間での「ついでの声かけ」は、結構有効です。その他、各クラブでは次のような工夫により会員増につなげました。



PR活動用のチラシ

かす。

6 声かけはタイミングも大切で、一度でダメなら二度三度、一人でだめなら二人三人であたるくらいの柔軟性が必要。

老人クラブで「生かす」

老人クラブの活動は、そのほとんどがボランティア活動です。どのような気持ちで取り組んだら良いのでしょうか。私は、様々なものを「生かす」という考え方がいいと思っています。私を生かす・周りの人を生かす・会員を・地域社会を・時を・場を・自然を・地球を…。

人生の終盤を生きる老人と言われる私たちは、その時が来るまで、私と私につながる様々なものを「生かす」という想いで生きる。

(会長 高橋 博)



安芸長束駅前での会員募集活動